

学 習 活 動	観 点	観 察 記 録	観 点 No 評 価
<ul style="list-style-type: none"> ●(参考図1)から次のことを発表する ア. 数を分ける イ. かけ算九九を用いる ウ. 何+に1位数をかける エ. たし算 ●繰り上がりがあったり、被乗数が大きくなったりすると複雑になるので ・能率的でない ・間違いやすい に気づき発表する ●本時の目あてをつかみ、かけ算を早く正しくする方法について考える ●筆算の形 $\begin{array}{r} 3458 \\ +2739 \\ \hline \end{array}$ を見て かけ算にも筆算があれば便利であることを発表する 	<p>② 考える手がかりを与える工夫</p> <p>① 問題解決への必要感や意欲を起こせる工夫</p> <p>② 考える手がかりを与える工夫</p>	<p>[考える手がかりとして、(参考図1)は適当であったか] ●学習への取り組みの様子、挙手、発言</p> <p>[筆算の必要性に気づかせるものとして、TP₁、TP₂は適当であったか] ●学習への取り組みの様子、私語、挙手、発言</p> <p>[考える手がかりとしてTP₃は適当であったか] ●挙手、発表内容</p>	<p>1 <input type="checkbox"/></p> <p>2 <input type="checkbox"/></p> <p>3 <input type="checkbox"/></p>
<ul style="list-style-type: none"> ●筆算では、どう表したらよいかを考え $\begin{array}{r} 32 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$ の形に表す ●自分の筆算の計算方法の考えをまとめその方法を発表する ●結果をノートする ● $\begin{array}{r} 32 \\ \times 3 \\ \hline 96 \end{array}$ の式は $\begin{array}{r} 32 \\ \times 3 \\ \hline 96 \end{array}$ の計算を $\begin{array}{r} 32 \\ \times 3 \\ \hline 90 \\ 96 \end{array}$ 簡単に表したものであることを理解する 	<p>① 筆算の形に書ける</p> <p>② 考える手がかりを与える工夫</p> <p>② 筆算の計算方法を考えだす</p> <p>③ 学習成果を自覚させる工夫</p>	<p>(筆算の形に書けたか) ●ノート、発表内容</p> <p>[(参考図1)を手がかりにして、自分で考えているか] ●学習への取り組みの様子、ノート、私語</p> <p>(筆算の計算方法を作り上げることができたか) ●ノート、発表内容</p> <p>[賞賛はどうであったか、できたことに満足しているか] ●表情、私語</p>	<p>4 <input type="radio"/></p> <p>5 <input type="checkbox"/></p> <p>6 <input type="radio"/></p> <p>7 <input type="checkbox"/></p>
<ul style="list-style-type: none"> ●①～③をノートに計算する ●計算の結果を発表し、答えを合わせる 	<p>③ 筆算ができる</p> <p>③ 学習成果を自覚させる工夫</p>	<p>(筆算ができるようになったか) ●ノート、発表内容、挙手</p> <p>[賞賛はどうであったか、できたことに満足しているか] ●ノート、発表内容</p>	<p>8 <input type="radio"/></p> <p>9 <input type="checkbox"/></p>
<ul style="list-style-type: none"> ●次時の学習内容は、繰り上がりのある乗法計算であることを知る 	<p>① 問題解決への必要感や意欲を起こせる</p>	<p>[この問題の提示は、適当であったか] ●表情、私語</p>	<p>10 <input type="checkbox"/></p>